



なんば たじょう 難波田城公園地域環境保全協議会 (埼玉県富士見市)

- 富士見市西部の難波田城公園を中心にした地域であり、新河岸川沿いの水田地帯に位置している。
- 本地区は県営ほ場整備事業により整備された地区だが、周辺の住宅地化により交通量が増加しゴミのポイ捨てや不法投棄が多く発生していた。
- 地域住民と共同で草刈りや泥上げ、ゴミ収集に取り組み地域の環境保全に貢献している。

【地区の概要】

- ・取組面積: 21.5ha (田21.5ha)
- ・資源量: 水路 7.9km 農道 5.7km
- ・構成員 自治会、子供会、JA、改良区等13団体
- ・交付金 約1.0百万円 (農地維持支払 資源向上支払(共同))

活動開始前の状況や課題

- 周辺の住宅地化により交通量が増加しゴミのポイ捨てや不法投棄が多く発生していた。
- 新住民が増えてきている中、地域としてのまとまりを作っていくことが課題となっている。



農道の草刈り及び清掃

取組内容

- 都市近郊であること、近在に難波田城公園があり、駐車場やトイレなどインフラ施設が整っていることから、都市住民等との交流を図るイベントを積極的に実施している。
- 農地に菜の花を植栽し「どじょうやうなぎすくい」、や地元農産物の販売を行うなど「菜の花まつり」を開催している。
- 大学ラグビー部や地域のラグビークラブと連携し「たんぼラグビー実行委員会」が中心となってたんぼラグビーを開催している。



菜の花まつり

たんぼラグビー

取組の効果

- 子供達をターゲットにしたイベントを開催することにより、イベントへ多くの親の参加があり、結果的に地域の保全活動への多数の非農家の参加につながっている。
- たんぼラグビーを開催した田んぼにおいて、ラグビー参加者が田植えや稲刈りを行い、収穫された米を「たんぼラグビー米」として販売しており、好評を博している。



ラグビー参加者の田植え たんぼラグビー米